

令和5年6月5日

三河歯科衛生専門学校
校長 丸山 健 殿

三河歯科衛生専門学校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会
委員長 新實 良美



令和4年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

記

1. 開催日時：令和5年5月21日（日）10：00～11：00

2. 場 所：三河歯科衛生専門学校

3. 参加者：9名

学校関係者評価委員

新實 良美	臨床実習指導者	蒲郡市民病院	歯科衛生士
楠本 裕枝	教育関係者	豊橋歯科衛生士専門学校	専任教員
安面 紀代子	卒業生	本山歯科医院名古屋本院	歯科衛生士
今泉 友美	保護者		
岩瀬 真由美	保護者		
菰田 綾花	保護者		
谷川 弘子	保護者		

学校教員

小池 美佳（挨拶・趣旨説明・記録）
遠山 麻希子（進行・アドバイザー）

4. 実施方法：自己点検評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。（評価委員へは、自己点検評価報告書を事前に送付済）

5. 意見・改善点

1) 教育目標

- ・適切である。
- ・入学時ガイダンス・保護者会などで、教育目標を理解してもらうための努力を継続していく必要がある。

2) 学校運営

- ・適切である。
- ・中長期計画会議・職員会議・学年会議が定期的開催され、目標が明確に定められている。
- ・情報のシステム化など IT 環境を整備する必要がある。

3) 教育活動

- ・適切である。
- ・今年度より、授業評価については学生を対象としたアンケートをそれぞれの科目終了時に実施する。結果を授業担当教員にフィードバックすることにより、授業方法や内容等の改善に繋がることを期待したい。
- ・コロナ禍におけるオンライン授業は、学生によっては理解に格差がでることがあった。しかし、実習においては対策を取ったうえで、出来る限り対面で行っており、正しい操作や情報を読み取る力がついているのではないかと。

4) 学修成果

- ・ほぼ適切である。
- ・3年連続国家試験合格率 100%は評価できる。
- ・就職に関しても就職を希望した者については例年 100%を維持しており、今後も同様に維持を目指す。
- ・退学者の低減に向けた取り組みとしては、丁寧できめ細かな指導に努めるなかで、欠席・遅刻や成績不良等、問題と思われる場合はこれまで同様早期対応する。

5) 学生支援

- ・ほぼ適切である。
- ・今年度からスクールカウンセラーを月 2 回配置している。近年メンタル面で不安を抱えている学生が多いため、学生対応について適切なタイミングで適切なケアを行うよう努める。
- ・卒業後のフォローアップを充実させる必要がある。

6) 教育環境

- ・適切である。
- ・昨年度実験室（3F）の改装工事を行い、実習机等の設備が新しくなった。より実習の効果が上がることを期待したい。
- ・今年度PC教室のPCを交換する予定。今後Wi-Fi環境を整える必要がある。
- ・女子学生が多いことも踏まえて、防犯カメラの設置が望まれる。

7) 学生の受け入れ募集

- ・適切である。
- ・AO入試の出願者が増え、定員を確保できたことはよい。
- ・実習生が臨床実習先で取り組んでいる姿勢や、歯科医院で働いている卒業生の働きぶりが評価され、このことが口コミで入学に繋がることも多い。
- ・HPが充実している。最近の若者はWebをよく活用しているので、今後も最新の情報など載せていくとよい。

8) 財務

- ・ほぼ適切である。
- ・支出を抑えるべき工夫・改善が必要である。

9) 法令等の遵守

- ・適切である。
- ・専修学校設置基準や関係法令に従い、適正に運営している。

10) 社会貢献・地域貢献

- ・ほぼ適切である。
- ・コロナ禍のため、社会福祉施設との交流会等が中止となっていたが今年度から再開されることはよい。